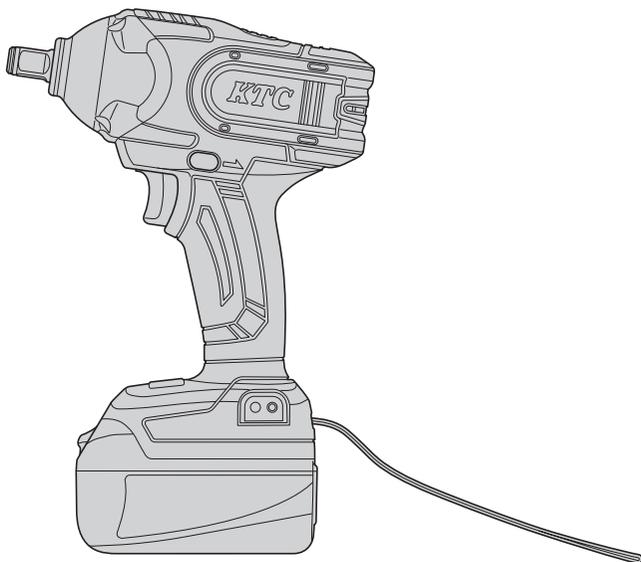


このたびは当社製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全
にご利用ください。

**12.7sq. コードレス
トルクリミットインパクトレンチセット
No.JTAE411**

取扱説明書



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

発売元：京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159
☎ (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・祝祭日及び当社休業日除く)

製品情報 <http://ktc.jp/>

製造国：台湾

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

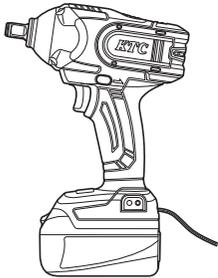
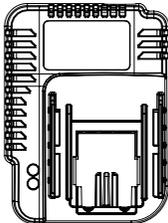
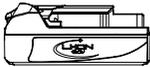
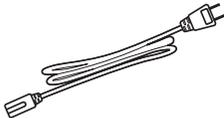
もくじ

| | |
|------------------------|----|
| 製品の機能 | 3 |
| 梱包内容 | 3 |
| ■開梱と再梱包 | 3 |
| 製品仕様 | 4 |
| ■インパクトレンチ本体 No.JTAE411 | 4 |
| ■充電器 No.JHE180H | 4 |
| ■バッテリーパック No.JBE18015H | 4 |
| お使いになる前に | 5 |
| ○バッテリーパックの充電 | 5 |
| ○LED ライトについて | 5 |
| 安全シグナルについて | 5 |
| 安全上のご注意 | 5 |
| 本体の使用方法 | 7 |
| ■バッテリーパックの装着と充電方法 | 7 |
| ○バッテリーパックの取り外し | 8 |
| ○バッテリーパックの装着 | 8 |
| ○充電する | 9 |
| ■バッテリーパックの充電 | 9 |
| ○充電器ランプの見かた | 9 |
| ○バッテリーインジケーターの見かた | 9 |
| ■バッテリーパックについて | 10 |
| ○長くお使いいただくために | 10 |
| ○長時間ご使用にならないとき | 10 |
| ○バッテリーパックの寿命 | 10 |
| ○バッテリーパックの廃棄 | 10 |
| ■インパクトレンチの使用方法 | 10 |
| ○インパクトレンチ用先端工具 | 11 |
| ○先端工具を取り付ける | 11 |
| ○インパクトレンチを操作する | 12 |
| ○LED ライト | 12 |
| ○仮締めモードの操作 | 13 |
| ■保管方法とメンテナンス | 14 |
| ○作業が終わったら | 14 |
| ○メンテナンス | 14 |
| ■製品の廃棄について | 14 |
| 故障かな?と思ったら | 15 |

製品の機能

この製品は、ボルト・ナットを緩めたり、仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。
他の目的には、使用しないでください。

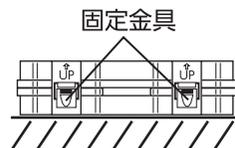
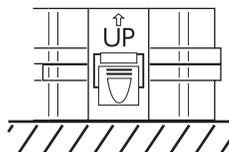
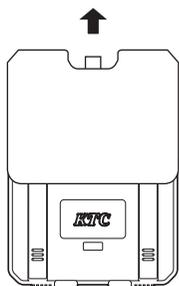
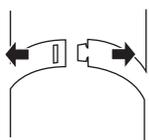
梱包内容

| 本体 | 充電器 | バッテリーパック |
|---|---|---|
|  |  |  2個 |
| 電源コード | 専用ケース | 取扱説明書 |
|  |  |  |

■開梱と再梱包

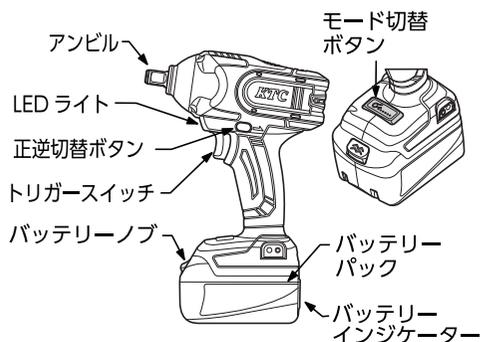
開梱手順は、以下のとおりです。再梱包は、開梱と逆の手順で実施します。

- 1.スリーブの固定用帯を外します。
- 2.スリーブを上側に引き抜きます。
- 3.専用ケースの上面に記載されているUPが、上側に来るように、水平な場所に置きます。
- 4.左右の固定金具を外し、専用ケースを開きます。



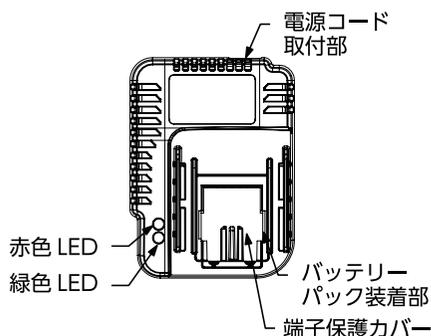
製品仕様

■インパクトレンチ本体 No.JTAE411



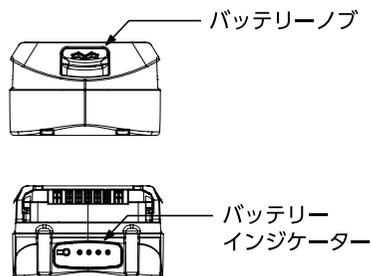
| | |
|---------------|--|
| 方 式 | コードレス充電式電動インパクトレンチ |
| 入 力 電 圧 | 18V DC |
| 能力ボルト | 六角ボルト M6～M14=10mm～21mm |
| 締付トルク | フルパワーモード時 300N・m (気温 20℃満充電時) 仮締めモード時 フルパワーモードの約 25% (締付方向のみ) |
| 無負荷回転数 | 0～2300rpm |
| 四角ドライブ (アンビル) | 12.7sq. |
| 寸 法 | W177×D80×H262 |
| 重 量 | 1.4kg |

■充電器 No.JHE180H



| | |
|---------|------------------|
| 入 力 電 圧 | 100V |
| 入力周波数 | 単相交流 50/60Hz 共用 |
| 電力 (最大) | 60W |
| 出力電圧 | 10.8・14.4・18V DC |
| 出力電流 | 3.0A / 2.3A |
| 操作温度 | 0～50℃ |
| 保管温度 | -20～70℃ |
| 寸 法 | W145×D109×H78 |

■バッテリーパック No.JBE18015H



| | |
|---------|-------------------|
| 充 電 池 | リチウムイオン電池 |
| 公称電圧・容量 | 18V DC・1500mAh |
| 充 電 時 間 | 約 40 分* |
| 寸 法 | W117×D80×H49 |
| 重 量 | 0.5kg |
| 充 電 器 | JHE180H 専用充電器にて充電 |

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは満充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- ・充電は 0 ~ 50℃の場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が 0℃以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電を行う。
- ・バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷えるまで 30 分以上休止させる。

○LED ライトについて

本体に装着されている「LED ライト」は、トリガースイッチの操作と連動して点灯し、作業する部分を照らす為のものです。懐中電灯代わりにはなりません。



- ・暗所の移動に使用しない。
- ・LED ライトを直接見たり、人に向けない。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をした時に発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。



警告 誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意 誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

| | |
|--------------|------|
| 拡大損害が予想される事柄 | 禁止行為 |
| 必ず行う | 分解禁止 |

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。



警告

死亡や重傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|------------------------------|-------------------|
| | ●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
| | ●雨中や湿気が多い場所で使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
| | ●ぬれた手で使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
| | ●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
| | ●点検及び保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●本体を持って移動する時は、トリガーに指をかけない。 | ケガや器物破損の原因になる。 |



警告

死亡や重傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|----------------------------------|------------------|
| | ●暗い場所で作業を行わない。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●作業対象物を必ず固定する。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチを切った状態で行う。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●バッテリーパックを火中に投入しない。 | 破裂や有害物質発生の原因になる。 |



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|------------------------------------|-----------------------|
| | ●分解及び改造をしない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
| | ●保守点検を必ず行う。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●本体に亀裂や破損が無いか確認する。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●小さい子供がふれない所に保管する。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は、使用を中止する。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |
| | ●本体に落下などの強い衝撃を与えない。 | 本体の破損や器物損傷のおそれがある。 |
| | ●本体を投げない。 | 本体の破損や器物損傷のおそれがある。 |
| | ●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。 | 破損の原因になる。 |
| | ●水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。 | 破損の原因になる。 |
| | ●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |
| | ●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。 | 破損の原因になる。 |
| | ●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |
| | ●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。 | ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。 |
| | ●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |

本体の使用法

■バッテリーパックの装着と充電方法

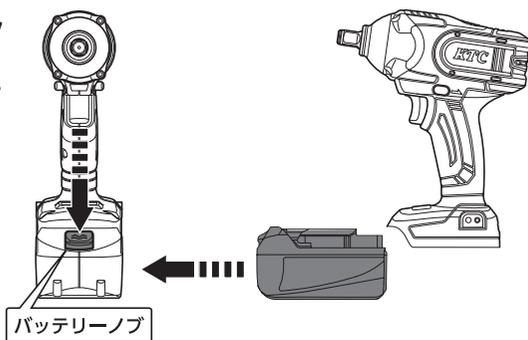
|  警告 <small>けい こく</small> 死亡や重傷の原因となる。 | | |
|---|---------------------------------|---|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、使用を中止する。 | 発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。 |
|  | ●分解及び改造をしない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
|  | ●バッテリーパックに衝撃を加えない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
|  | ●専用の充電器以外は、使用しない。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |
|  | ●換気の良い場所で充電する。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |
|  | ●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは、使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
|  | ●ぬれた手で使用しない。 | 感電による死亡や重傷の原因になる。 |
|  | ●充電中に布や可燃物で覆わない。 | 火災や器物損傷の原因になる。 |
|  | ●バッテリーパックを他の工具類と一緒に保管しない。 | 火災や器物損傷の原因になる。 |
|  | ●バッテリーパックの端子間を短絡させない。 | 火災や器物損傷の原因になる。 |
|  | ●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。 | ケガや器物損傷の原因になる。 |

本体の使用方法

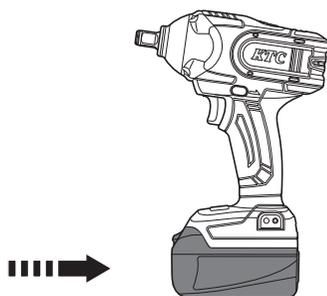
■バッテリーパックの装着と充電方法

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|--------------------------------------|--------------|
| | ●充電器を使用しないときは、電源プラグを抜く。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●充電器は、必ず100Vの電源を使用する。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●電源コードは、定期的に点検する。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●温度が0℃未満、あるいは50℃以上の環境で充電を行わない。 | ケガや破損の原因になる。 |
| | ●充電器の電源コードを持って運ばない。プラグを持ってコンセントから抜く。 | 破損の原因になる。 |
| | ●電源コードを熱源に近づけない。 | 破損の原因になる。 |
| | ●バッテリー及び本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。 | 破損の原因になる。 |

- バッテリーパックの取り外し
バッテリーノブを押しながら、
バッテリーパックを前方に引き出す。



- バッテリーパックの装着
- ①バッテリーパックを本体に装着する。
 - ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。

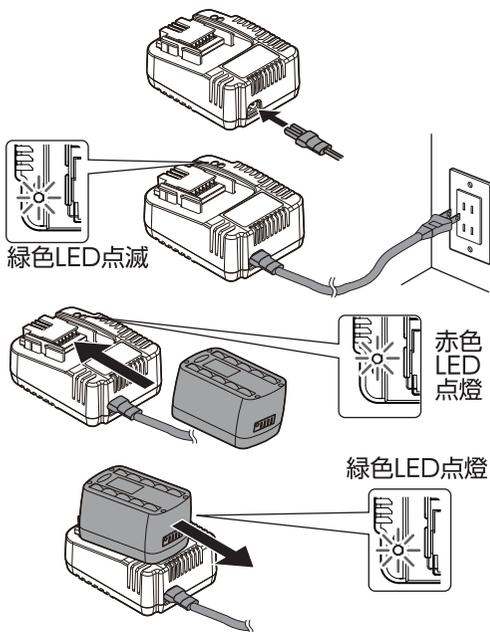




- ・本体の端子部に異物が無い事を確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

○充電する

1. 充電器に電源コードを取り付ける。
2. コンセントに電源コードを差し込む。
緑色LEDが点滅（遅い）する。
3. バッテリーパック及び充電器の端子部に異物が無い事を確認し、充電器にバッテリーパックを装着する。
赤色LEDが点灯する。
4. 充電が完了したら、バッテリーパックを取り外す。
緑色LEDが点灯する。



■バッテリーパックの充電

○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を表わします。

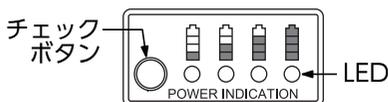
ランプの見かた

| | |
|-----|------|
| ●● | 遅い点滅 |
| ●●● | 速い点滅 |
| — | 点灯 |

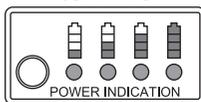
| LED | | 内 容 | 充電器及びバッテリーパックの状態 |
|-----|----|--------------|---|
| 緑 | 赤 | | |
| ●● | | 通電中 | 充電器の電源が入っています。 |
| | — | 充電中 | 正常に充電しています。 |
| ●●● | | 80%充電完了 | |
| | — | 充電完了 | 正常に充電が完了しました。 |
| | ●● | バッテリーパック温度異常 | バッテリーパックの温度が異常です。 適正な温度になってから充電してください。 |
| — | — | バッテリーパック不明 | バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。 |

○バッテリーインジケータの見かた

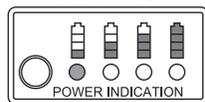
バッテリーパックにあるインジケータは、チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



満充電時



要充電時



■ バッテリーパックについて

○ 長くお使いいただくために

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。バッテリーパックは、使用後、充電せずに保管してください。
- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○ 長時間ご使用にならないとき

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。長時間保管する場合には、充電せずに保管してください。

○ バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○ バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



| | |
|--|---|
|  | ・バッテリーパックを火中に投入しない。 |
|  | ・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。 |

■ インパクトレンチの使用方法

|  警告 死亡や重傷の原因となる。 | | |
|--|---------------------|-------------------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ● 本体を確実に保持する。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
|  | ● 回転する先端に顔や手を近づけない。 | ケガの原因になる。 |
|  | ● 長時間の連続作業はしない。 | 本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。 |
|  | ● 密閉された空間で使用しない。 | 発煙、発火、破裂のおそれがある。 |

|  注意 ケガや器物損傷の原因となる。 | | |
|--|------------------------------------|----------------|
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|  | ● 先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付ける。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
|  | ● 軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
|  | ● スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。 | ケガや器物破損の原因になる。 |
|  | ● インパクトレンチ用ソケットを使用する。 | ケガや器物破損の原因になる。 |



ちゅうい
注意

ケガや器物損傷の原因となる。

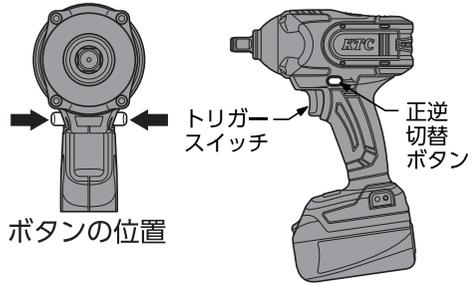
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|----------------------|-------------------------------|
| | ●空回転させない。 | 先端工具が飛び、ケガや器物破損の原因になる。 |
| | ●本体から出る空気に触れない。 | 火傷やケガの原因になる。 |
| | ●締め付け後は、トルクレンチで確認する。 | 規定トルクが指定されているものは、トルクレンチを使用する。 |

○インパクトレンチ用先端工具

先端工具は、インパクトレンチ用ソケットをご使用ください。

○先端工具を取り付ける

1. トリガースイッチをロックする。
正逆切替ボタンを中央で止め、
トリガースイッチをロックする。



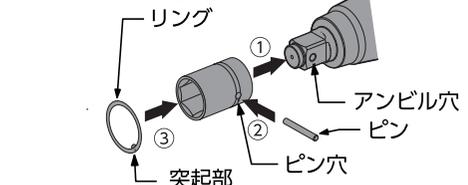
先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認する。

2. 先端工具を取り付ける。

《ピン・リングを使用する場合》

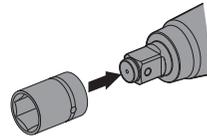
- ①ソケットのピン穴とアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。
- ②ピンを入れる。
- ③リング内側の突起をピン穴に入れるようにを取り付け、ピン抜けを防止する。

《ピン・リングを使用する場合》



《ピン・リングを使用しない場合》

《ピン・リングを使用しない場合》
アンビルにソケットを取り付ける。



先端工具の取り付け後、作業前にソケットの装着状態を確認する。

●ピン・リング使用時：ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか。

●ピン・リング未使用時：ソケットが容易に外れないか。

KTC製品以外のインパクトレンチ用ソケットの場合は、使用するメーカーの取扱説明書に従って装着する。

■インパクトレンチの使用方法

○インパクトレンチを操作する

正逆切替ボタンの操作で回転方向が切り替えられます。ボタンを中立位置にすると、トリガースイッチをロックできます。

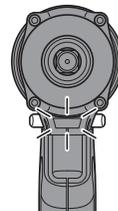
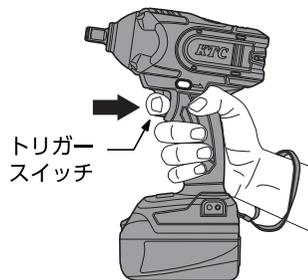
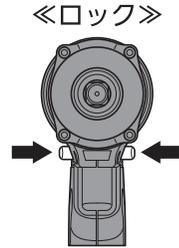
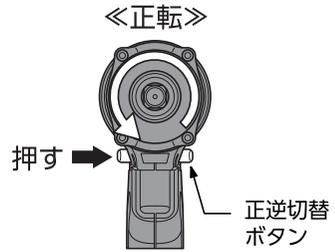
- 回転方向の切替<正転>
インパクトレンチを正転方向に切り替える。
- 回転方向の切替<ロック>
インパクトレンチのトリガースイッチをロックする。
- 回転方向の切替<逆転>
インパクトレンチを逆転方向に切り替える。
- トリガースイッチの操作
トリガースイッチを引くことでアンビルが回転。

!

- 作業時は、右図のようにストラップに手を通して使用すること。
- 正逆切替ボタンはモーターが完全に停止してから操作すること。

○LED ライト

トリガースイッチの操作に連動し、LEDライトが点灯する。

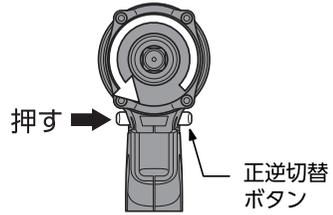


○仮締めモードの操作

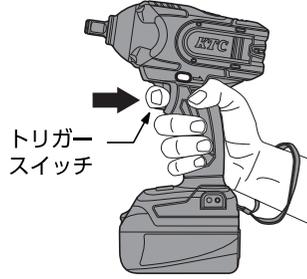
モード切替ボタンを操作することで、インパクトレンチを「仮締めモード」に切り替えることができます。

「仮締めモード」は「フルパワーモード」時の約 25%の締め付け力になります。

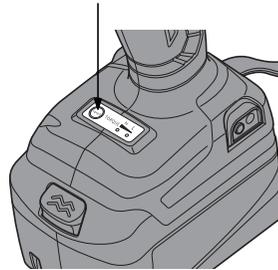
《正転》



1. 正逆切替ボタンを正転方向に切り替える。
2. トリガースイッチを引き、アンビルの回転させると、モード切替ボタンのLランプのみが点灯（「仮締めモード」）、またはHランプとLランプの両方が点灯（「フルパワーモード」）する。
3. HランプとLランプの両方が点灯している場合は、モード切替ボタンを押し、Lランプのみが点灯している状態にする。



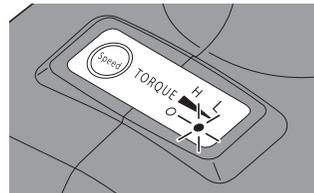
モード切替ボタン



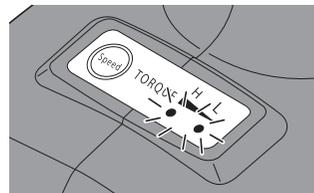
「仮締めモード」と「フルパワーモード」は、モード切替ボタンを押すごとに切り替わる。

| | | 設定モード | |
|------|----|--------|----------|
| | | 仮締めモード | フルパワーモード |
| 回転方向 | 正転 | 仮締め | フル |
| | 逆転 | フル | フル |

《仮締めモード時》



《フルパワーモード時》



確認

- 「仮締めモード」は、「正逆切替ボタン」が正転方向に切り替えられているときに作動します。
- 「仮締めモード」に切り替えても、逆転方向ではフルパワーモードで作動します。
- 「仮締めモード」時の締め付け力は、電池の状態やボルト・ナットの状態により、異なる場合があります。

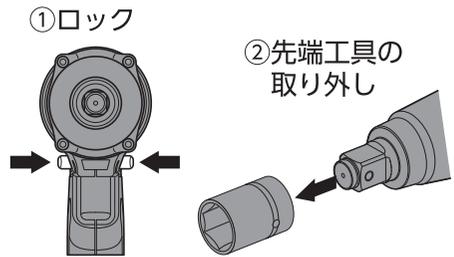


- 「仮締めモード」を使用して締め付けしたボルト・ナットは、必ずトルクレンチを使用して規定のトルク値まで締め付ける。

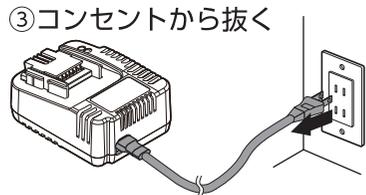
■保管方法とメンテナンス

○作業が終わったら

- ①正逆切替ボタンをロック位置にする。
- ②先端工具を取り外す。



- ③充電器の電源コードをコンセントから抜く。
- ④専用ケースに入れ保管する。



●本体及び充電器

次のような場所で保管しない。

- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所
- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所

●バッテリーパック

- ・リチウムイオンバッテリーは、使用後充電せずに保管する。
- ・ホコリの付かない場所で保管する。
- ・短絡させないようにする。

○メンテナンス

≪本体の汚れ≫

バッテリーを外した状態で実施すること。本体及びバッテリー、充電器が汚れた場合は、柔らかい布などを使用し、拭き取る。

≪各部の点検≫

バッテリーを外した状態で実施すること。各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。



●本体及びバッテリー、充電器のふき取り

- ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体を拭かない。

●充電器、バッテリーパック

- ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
- ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

| 症状 | 考えられる原因 | 対処の方法 |
|--|------------------------------------|---------------------------------|
| 動作が途中で停止する。 | | 作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。 |
| 動作が途中で停止する。 バッテリーパックが温度異常 (パワーインジケーターが全て点滅する)。 | 本体が高温になり、保護機能が働いている。 | 作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。 |
| 動かない。または動いてもすぐ止まる (パワーインジケーターのLED1個が点滅する)。 | バッテリーパックを充電していない。 | 充電する。 |
| 動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。 | バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。 | ゴミを取り除く。 |
| | モーターブラシが摩耗している。 | 新しいモーターブラシに交換する。 |
| 満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。 | バッテリーパックが故障している。 | 新しいバッテリーパックに交換する。 |
| | バッテリーパックの寿命。 | 新しいバッテリーパックに交換する。 |
| | バッテリーパックの残量が少なくなった。 | 充電する。 |
| トリガースイッチを離すと、異音が生じて停止する。 | バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。 | 充電する。 |
| | 温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパックを使用した。 | バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。 |
| 満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。 | ブレーキの動作音。 | 故障ではない。 |
| | バッテリーパックの寿命。 | 新しいバッテリーパックに交換する。 |
| 満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。 | 温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパックを使用した。 | バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。 |



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状

電源プラグを接続しても、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）にならない。

充電器にバッテリーパックを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）のまま変化しない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点燈）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点燈）にならない。



上記の症状が見られる場合は、直ちに使用を中止する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店もしくは KTC 取扱店に修理を依頼してください。